



IT業界 研究カフェ

平成 26 年 11 月 29 日(土)、経団連会館 5 階(東京・大手町)にて、学生向け情報発信イベント「IT 業界研究カフェ」を開催した。JISA としては初めての試みである学生向けイベントで、参加者は企業側 55 名(30 社)、学生 195 名(午前の部、午後の部)だった。

前半部分はスクール形式で IT 業界についてのセミナー、パネルディスカッションを行い、後半部分はカフェ形式で、実際に業界内で活躍するビジネスパーソンとの交流を図るプログラムになっている。日頃はライバル同士である業界内の各社が集結し、IT 業界の魅力を学生に伝えた。



■セミナー

前半部分は「IT業界地図を知る」の内容で、セミナー、パネルディスカッションを行った。講演内では、まず、ITがない生活は考えられないのでは?といった問いかけを学生に投げかけ、ITがいかに私たちの生活に深く関わっているかを確認した。その後、ITと各産業の関わりを紹介し、ITは全産業を支えていること、常に進化を続けている新鮮で魅力のある業界であることを訴えた。



また、パネルディスカッションでは、ダイバーシティ部会人材育成WGのメンバーがパネリストとして登場し、「IT業界で働いていて感じること」「IT業界で働く中での苦労・やりがいとは何か」「今の学生に伝えたいこと」などいくつかの項目について自由に発言し、次セッションの交流会に向けて場を暖めた。

■カフェ・交流会

後半部分は部屋を替え、カフェ形式で各参加企業の社員と学生の交流が行われた。大きなテーマを設定はしたものの、基本的には学生が聞きたいことを自由に聴けるような進行を行った。学生にとっては、多くの企業社員と交流することができる機会は貴重なようで、事前に配られた企業側参加者のプロフィール票を見ながら、積極的に自身の興味がある分野や聞

きたい項目について質問をしていた。また、企業側参加者は、実際働く中で感じている生の声や IT 業界の魅力を紹介し、終始和やかな雰囲気での交流を深めていった。最後は、ダイバーシティ部会長である舟橋氏（ユース・情報システム開発(株)）の挨拶で締めくくられた。

終了後、学生からは「IT 業界のイメージが変わった」、「これからの就職活動で IT 業界も視野に入れたい」、「文系でも IT 業界やシステムエンジニアを志すことができる、ということに驚いた」といった率直な感想が寄せられた。ダイバーシティ部会では、今後もこういった IT 業界の魅力を発信する場を積極的に作っていききたい。



(増田)